

重交通・重荷重用舗装システム

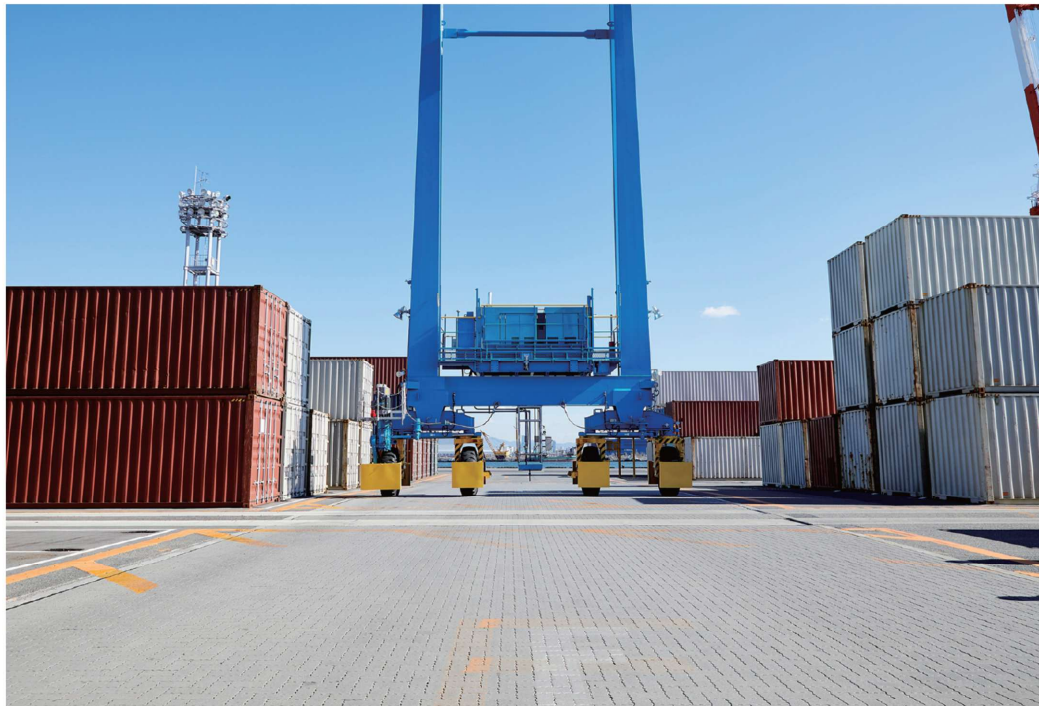
ハイパーロードシステム

打ち直し仕上げ

非透水製品

■ 輪荷重が5tを超える特殊車両が走行する港湾区域や産業ヤードにおいて、長期間にわたり良好な路面性状（供用性）を維持するための重交通・重荷重用の舗装システムです。

■ 従来のインターロッキングブロック舗装と同じ乾式施工で、工期短縮が可能です。



大阪南港コンテナふ頭

トランスファークレーンの走行路に施工
(輪荷重 17.5 t)

超重荷重交通でも良好な路面状態を保っています。



神戸港コンテナヤード

リーチスタッカーの走行路に施工
(輪荷重 24.3 t)



立川バス営業所

大型バスのタイヤ据え切りエリアに施工



横浜本牧ふ頭

ロードシャーシのスタンドによる不具合エリアに施工



ハイパーロードシステムの特長

施工性

モルタルを使用しない乾式施工のため、即時交通解放が可能です。

メンテナンス性

容易に部分補修が可能です。小規模な補修の場合には撤去工を含め、人力のみで作業が可能です。

耐久性

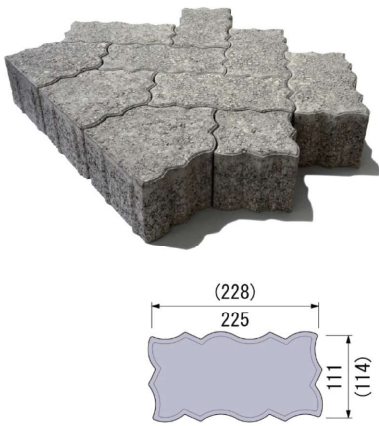
夏季の路面温度上昇に起因する路面変形が発生しません。また、従来厚のブロックに比べ、割れや不陸がなく非常に高い耐久性を有しています。

経済性

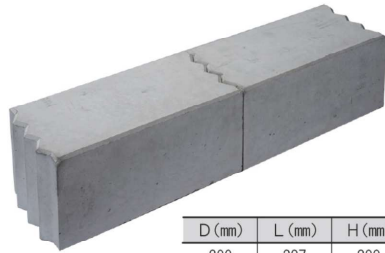
舗装長寿命化によるライフサイクルコスト削減および、メンテナンス時にブロックの再利用が可能です。

ハイパーロードシステムの構成

■100mm厚波形インターロッキングブロック



■端部拘束ブロック (乾式工法)



短辺が噛み合う波形状となっています。ブロックの移動を抑え、がたつきを防止します。

■端部収まり用L型アングル



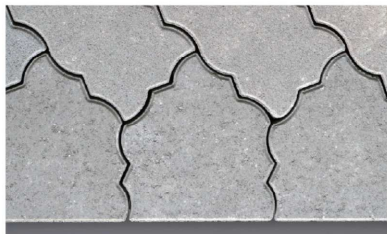
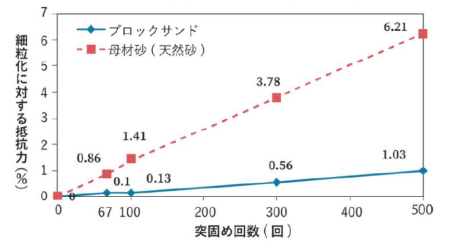
ILBと同じ路盤高さで施工が可能。設置が容易で短時間で施工できます。

■ブロックサンド (アスファルト系敷砂・目地砂)



細粒化に対する高い抵抗性を有し、長期にわたり良好な路面性状の維持が可能です。

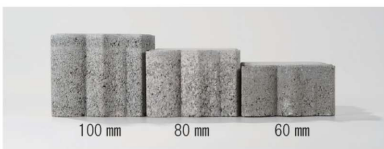
■砂の細粒化に対する抵抗性の比較



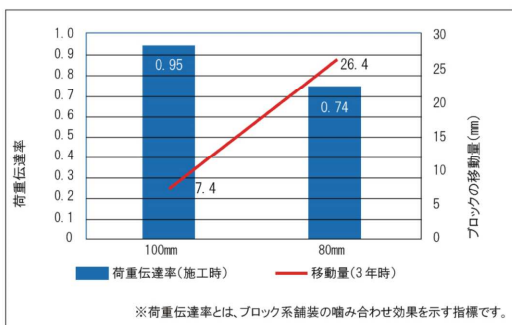
端部ブロック (F型) 使用のメリット

- ・舗装の端部が安定し、不陸が起こりにくい。
- ・45°方向の敷設パターンでブロックが移動しにくい。
- ・目地砂の流出が少ない。

■従来の厚み 80 mm ILB に比べて高性能

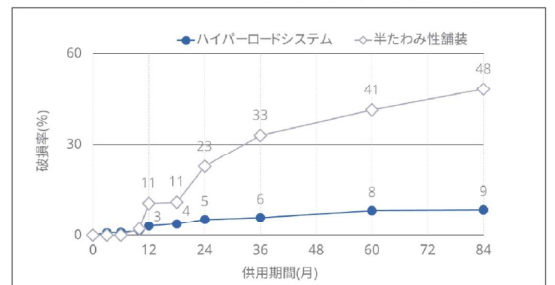


従来の 80 mm ILB と比べて、荷重伝達率は約 1.3 倍、さらにブロックの移動量は 1/3 以下。重交通・重荷重に対する高い耐久性を有しています。



テクニカルデータ

■ハイパーロードシステムと半たわみ性舗装の破損率の比較



7年 (84ヶ月) 経過時で破損率は半たわみ性舗装の 1/5 以下。ブロックの破損は角欠け程度で、良好な状態を保っています。